

# 令和4年度 保育所自己評価

## 保育士自己評価より

### ●現状●

- ・ 一人ひとりの子どもとのコミュニケーションをできるだけ多くとり、その子が何を求めているのかをしっかりと把握し、対応できるように心がけている。
- ・ 子ども達の不安を取り除いて、楽しく過ごせるように考えている。
- ・ 子ども達にとって温かく居心地のよい環境にしようと心がけている。
- ・ 主体的な活動ができるような声かけをしたり、率先して一緒に遊んだりしている。
- ・ 子ども達が興味関心を持つような教材教具の準備をし、その反応をみて見直す等PDCAサイクルを活用するようにしている。
- ・ 絵本を大切にしていって、一対一の読み聞かせをしている。(0才児クラス)
- ・ 毎日絵本と紙芝居を読み聞かせるようにしている。読むときには、子ども達の様子を見ながら読み方の工夫をしている。
- ・ 自分自身の言葉遣いに気をつけ、思いやりの心で接するように心がけている。
- ・ 子ども達の中に「できた」「できるようになってきた」という喜びがわき、自信につながるような言葉掛けを大切にしている。
- ・ 子ども達と目を合わせることを大切にし、一つひとつの行為を言葉にしなが、丁寧に関わっていくことで安心感を持ってもらえるようにしている。
- ・ 叱るべき時には、感情的にならないようにし、その子の心に届く対応を心がけている。
- ・ 小さなことでも、子ども達の声に耳を傾けるようにしている。
- ・ 今、目の前の子ども達は何ができるようになってきているのか、それぞれの発達段階を知り、次にどう伸ばしていけばいいのか、職員間で話し合ったり、本で調べたりして実践している。
- ・ 職員同士のコミュニケーションを上手くするようにし、子ども達についての認識を共有することで、よりよい保育環境をつくるようにしてきた。
- ・ 保育中の気になる点や、子どもの言動での気になる点など、毎日担任同士で話し合うことを意識している。情報交換をしっかりと行うことで、保育計画もより充実したものになるようにしている。
- ・ 子ども達の発達段階に合わせ、先回りしすぎないように援助している。
- ・ 子ども同士の関わりの中で、いじめにつながるようなことはないか意識している。もしもそのような様子や言動などがあったときには、しっかり話していきたいと思う。
- ・ 子ども達への理解力や指導力の向上をめざしてきた。信頼関係をしっかりと築けるように日々努めてきたが、子ども達が担任によって態度を変えるような様子があり、そのような差が出てしまったことを反省する。

### ●保育所としての課題●

- ・ どのクラスも、子ども達の個性や主体性を大切にして、保育計画をたて、環境をつくり、保育にあたっている。しかし、コロナ禍で園外研修がほとんどなくなってしまっていることもあってか、もっと学ばなくては、もっと指導力を高めるにはどうしたらいいのだろうかと思悩む保育士もいる。園内研修を計画したり、来年度からは園外研修にも参加するようにして、保育士の思いに答えられるようにしていきたい。
- ・ 保育園での悲しい事件、事故を立て続けに知ると同時に、当園でも、もしそれが起こったら、また、そんなことが起こらないようにと対策を話し合う中で、保育士がその責任の大きさに不安を募らせ、心細くなっているのを感じる。もしなにか問題が起こった時にでも、誰か一人のせいではなく、保育園全体の問題として関わっていく姿勢を貫き、希望をもって保育士になった職員を守るようにしていきたい。

